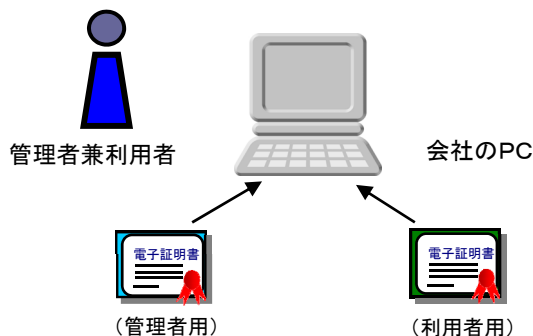


# 電子証明書方式の導入例 ~管理者と利用者すべてに電子証明書方式を導入する場合

## 導入例 I 管理者と利用者が同じ（1名）

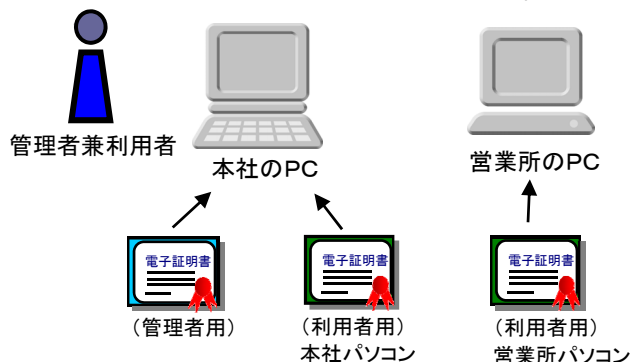
◆管理者兼利用者がログオンするパソコン:会社のPC



会社にあるPCで管理者用と利用者用の電子証明書をそれぞれ取得・インストールします。

## 導入例 II 管理者と利用者が同じ（1名）

◆管理者兼利用者が管理者ログオンを行うパソコン:本社のPC  
管理者兼利用者が利用者ログオンを行うパソコン:本社および営業所のPC



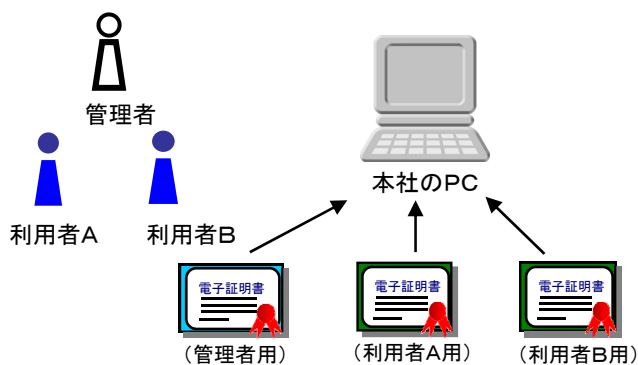
本社のPCで管理者用・利用者用の電子証明書をそれぞれ取得・インストールします。

営業所のPCで利用者用の電子証明書を取得・インストールします。

※この例では、あらかじめ利用者IDを2つ登録しておく必要があります。

## 導入例 III 管理者と複数の利用者がそれぞれ利用（管理者1名、利用者2名）

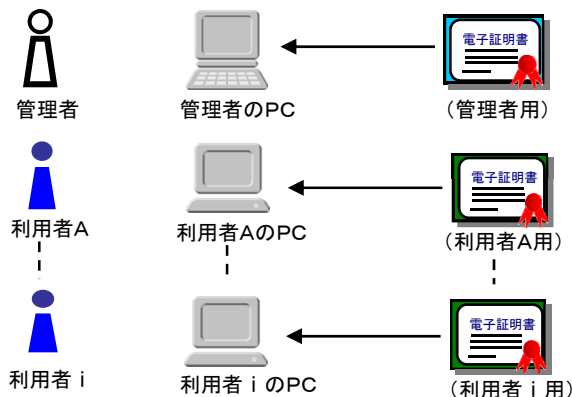
◆管理者がログオンを行うパソコン:本社のPC  
各利用者がログオンを行うパソコン:本社のPC



会社のパソコンに管理者用、利用者A用、利用者B用の電子証明書をそれぞれ取得・インストールします。

## 導入例 IV 管理者と複数の利用者（最大9名）がそれぞれ利用

◆管理者がログオンを行うパソコン:管理者のPC  
利用者がログオンを行うパソコン:各利用者のPC



それぞれ利用するPCで管理者、各利用者の電子証明書を取得・インストールします。

上記は、管理者と利用者が共に「電子証明書」方式を利用する場合の導入例の一部です。  
このほかの導入例としては、「一部の利用者はID・暗証番号方式を利用する」といった方法もあります。  
お客様のセキュリティ対策の方針やリスク許容度を考慮いただいたうえで、「電子証明書」の利用有無のご検討をお願いいたします。